

令和6年9月18日

南麻布新堀会の皆様

港区立東町小学校  
港区教育委員会事務局学校教育部  
学校施設担当

## 港区立東町小学校の施設整備に関する今後の方向性について

日頃より東町小学校の学校運営及び港区の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

港区立東町小学校について、港区公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化の検討において、大規模改修工事では教育施設として求められる機能・性能の確保が困難であり、現敷地を有効に活用することで大きく教育環境の向上等が図られることから、今後、改築による施設整備を進めます。

### 1 背景・経緯

東町小学校は、大正2年に東町尋常小学校として開校し、令和5年に開校110周年を迎えました。現在の校舎は、主たる部分が昭和48年に竣工し、竣工から50年が経過しています。これまで、平成11年度及び15年度に耐震補強工事を実施するとともに、近年は児童数の増加や35人学級へ対応するため、内部改修工事による特別教室等の転用や仮設校舎の設置により普通教室の増設を行っています。

港区公共施設マネジメント計画に基づき、大規模改修工事により施設を竣工後80年以上利用するための長寿命化の検討に当たり、学校施設として求められる機能・性能の向上や、近年の児童数の増加や学びのスタイルの変容に対応した教育環境の向上を図ることが可能かどうか検討しました。また、地価が高く、土地の取得が困難な港区において、区有財産の有効活用が求められる中、改築により既存の敷地をより有効に活用した施設整備が可能かどうかについても併せて検討しました。

### 2 今後の児童数及び学級数の予測

港区人口推計をもとに、教育委員会が行った学区域毎の就学率や周辺の大規模開発等の影響を考慮した令和17年度までの児童数及び学級数の推計では、東町小学校の児童数は、令和6年度をピークに減少しますが、令和13年度から再び上昇傾向に転じます。また、東町小学校は、ESC (English Support Course) を設置しており、国際色豊かな教育活動により学区域外からの選択希望も多い状況であり、今後も現状と同程度の児童数及び学級数で推移することが見込まれます。



### 3 今後の施設整備の方向性

麻布地区は令和17年に総人口が令和6年度から約27.4%増加する見込みであり、年少人口も1,187人増加し9,393人となる見込みです。子育て世帯が安心して住み続けられるよう区立学校として適切な教育環境の確保や、今後の人口増加にも対応するため、区が所有する限られた土地を効果的に活用した公共施設整備が求められています。

東町小学校は、昭和20年に戦災により校舎が全焼し廃校となり、平成21年には児童数が58名にまで減少したことで再び廃校の危機がありました。港区初の国際学級ESCを設置し、先進的な国際理解教育に取り組んだことで児童数が大幅に回復しました。ESC設置校として国際色豊かな東町小学校の特色を含めた教育環境の向上や、学校施設が区民にとって身近にスポーツを楽しめる場所であり、地域コミュニティや地域防災の拠点としての役割を担うことも踏まえ、改築工事による施設整備を進めます。

### 4 今後のスケジュール（予定）

令和7年度	整備施設の基礎検討、プロポーザル選定
令和8年度	整備計画策定
令和9年度	基本設計
令和10～11年度	実施設計及び契約手続
令和12年4月	工事着工（旧三光小学校へ仮移転）
令和15年夏頃	新校舎の運用開始

※工事スケジュール及び新校舎の運用開始時期については、令和8年度に実施する整備計画策定時に決定します。

今後、令和12年度からの改築に向けた検討を進めていく中で、随時、情報提供をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

#### 【問合せ窓口】

港区 教育委員会事務局学校教育部学務課施設計画担当

【担当】金内、田口 03-3578-2791（直通）